

#6 自分自身を主の働きの一つの流れの中に保ち、召会を拡大させ、主のあわれみを受けて、サタンの計略から救われる

(国際長老責任者訓練)2018/12/17-12/23

I. 神聖な命の流れは、ペンテコステの日に始まり、すべての時代にわたって今日まで流れてきて、彼の団体的な表現のための召会を建造するという神の目的のためのただ一つの水流です:

A. 私たちが主に私たちの全存在の中で首位となっただけ、彼を私たちの初めの愛とすると、彼は私たちにとって神聖な水流となり、私たちの内側を流れ、また私たちから流れて、初めのわざとなります。初めのわざとは、私たちの初めの愛としての主によって動機づけられ、彼から流れ出て、彼を表現するわざです。
B. 初めの愛によって動機づけられるわざだけが、金、銀、宝石です。

II. 召会の基本的な原則は、永遠で宇宙的事実であることなので、召会は絶えず地上で拡大しなければなりません。召会の成長と召会の建造は、拡大させることに基づいています: 【月】

A. 召会の拡大は、主の命の成長と、主の命の流れ出、命のあふれ出によってもたらされます。

B. 召会が拡大し始めるとき、誤った観念は粉碎されます。それが地域的、人種的、互いの差別の観念であっても、拡大することを通して、すべての閉鎖的な気質は取り除かれます。

C. 使徒第8章が見せているのは、召会の拡大の第一段階がサマリアに到達し、第二段階がエチオピア、アフリカに到達したということです。これが示しているのは、私たちが福音をあらゆる種族、言語、民族、国に宣傳伝えなければならないということです。なぜなら、召会は宇宙的であり、拡大する必要があるからです。 【火】

D. 使徒第9章は、神がサウロ(後のパウロ)を選んだことを見せています。これは人の観念に相反します。私たちの狭い、誤った人の観念は、召会の拡大を通して砕かれ、粉碎される必要があります。私たちは、人が一時間前に召会を迫害して、一時間後には福音を宣べ伝えることができることを、信じなければなりません。

E. 使徒第10章が示しているのは、地上での主の福音の行動が、天の御座における彼の行政の下にあるということ、福音が人の住む地の四隅に拡大され、すべての種類の汚れた(罪深い)人を集め、彼らをキリストの贖う血で清め、更新する聖霊で洗う必要があるということです。

F. 使徒第13章が啓示しているのは、アンテオケに在る召会で、主に仕えていた五人の預言者と教える者が、ユダヤ人と異邦人から成っており、各自には異なる背景、教育、身分があったということです。これが示しているのは、召会がすべての人種と階級の人々から成っているが、彼らの背景とは無関係であって、キリストのからだの肢体に与えられた霊的な賜物と機能は、彼らの天然の身分に基づいていないということです。

①キリストのからだのこれら五人の忠信な、追い求める肢体を通して、主は大きな一歩を踏み出し、バルナバとサウロを彼の働きと行動のために選び分け、彼の王国の福音を異邦人世界に拡大させました。

②それは地上でのキリストのからだの忠信で、追い求める肢体と、天のかしらとの組み合わせを通じた、完全にその霊による、その霊の中の、その霊と共にある行動でした。

G. 使徒パウロの福音を拡大させる一回目の行程で、彼はケプロと小アジアに行って、多くの地方召会を設立しました。

H. パウロはバルナバから離れた後、彼の二回目の務めの行程でヨーロッパに行きました(ピルピ、テサロニケ、ペレア、アテネ、コリント、そしてエペソを通してアンテオケに戻る)。

I. パウロの三回目の行程は、アンテオケからガラテヤ、フルギヤ、エペソ、マケドニア、ギリシャ、そしてエルサレムに至りました。

J. パウロの四回目の行程は、カイザリヤからローマへでした。 【水】

III. 私たちは主のあわれみを受けて、召会を拡大させ建造することを妨害するサタンの計略から救われなければなりません。また私たちは、自分自身を時代の流れの中に保ち、彼のからだを建造しなければなりません:

A. 私たちは、外側の死んだ規定、人の意見、自己とその古い観念から救われなければなりません。主からあわれみを受ける者はだれでも、これらの事柄で救われます。私たちがどれほど救われていくかは、召会がどれほど建造されることができかです。

B. 私たちはペテロの学課から学び、私たちの宗教的な伝統と古い背景のおおいかから救われなければなりません。それは、神の永遠のエコノミーのビジョンを見てその下で生き、福音の真理を保持することができるためです。

C. 私たちはバルナバの学課から学び、人の意見と天然の関係から救われなければなりません。個人的な関係のゆえに同労者の間で起こる争いは、恐ろしいものです。これをよく覚えておきなさい!

D. 私たちはアポロの学課から学び、神の新約エコノミーの全体

的な啓示に欠ける務めから、また時代の務めと完全に一でないことから、救われなければなりません。

E. 私たちは使徒第16章6節から12節のパウロの学課から学ばなければなりません。これらの節は、働き人がある場所に来て、そこに居座り、居着いて、動こうとしないという問題を示しています。古い関係、古い感情、古い味わい、古い観念は、私たちが内住の霊の内なる導きに従わないようにします:

①聖霊はパウロと彼の同労者たちを禁じ、イエスの霊は彼らを許しませんでした。聖霊の禁じは、私たちが分離し、聖別します。イエスの霊は私たちが許すこともあるし、あるいは許さないこともあります。

②聖霊は「ノー」と言って私たちが聖別し、イエスの霊は「行きなさい」と言って、私たちがイエスの人性の中で遣わし、十字架の下で神のみこころを完成させます。 【木】

F. 私たちはパウロの学課から学び、からだの生活を実行し、からだの肢体を通してその霊の言葉を取り、かしらからの言葉として、それに従わなければなりません。

G. 私たちはヤコブの間違いと、エルサレムに在る召会の混合の荒廃から学ばなければなりません:

①エレミヤは私たちの心に書かれ得る命の法則について語り、パウロは私たちの霊の中の命の霊の法則について語りましたが、ヤコブは文字の律法を尊び、高く上げました。

②パウロは、キリストと共に十字架につけられ、キリストの復活の力によって、キリストの死に同形化されることについて語りました。この生活がからだの生活を生み出し、からだの生活は新エルサレムにおいて究極的に完成します。

③神聖な啓示の光の中で、ヤコブの最大の欠陥はキリストの十字架です。自己の修養が神のエコノミーを完成するのではなく、自己を否むことが完成します。

④ヤコブは、エルサレムに在る召会には信じるユダヤ人が何万とおり、律法に対して熱心であると誇りました。しかしパウロは、キリストを獲得し、キリストの中に見いだされ、キリストを知り、キリストを取り、キリストを追い求め、キリストだけを高く上げ、キリストを最も完全に享受することに熱心でした。

H. 私たちはパウロの学課から学び、ユダヤ教の実行と神の新約エコノミーとの混合から救われなければなりません。この混合は誤りであるだけでなく、神の目に忌むべきものです。

I. 私たちは、パウロがカイザリヤに上訴した学課から学ばなければなりません。彼は彼のローマの市民権を利用して、自分を迫害者から救い、彼の務めの行程を完成することができるようにしました:

①パウロは進んで主のために自分の命を犠牲にしましたが、なおも努力してさらに長く生き、主の務めをできる限り完成することができるようにしました。

②神はご自身の主権の中でパウロを救い、彼をすべての危険な状態と畏にかけることから引き離し、静かな牢獄に送りました。これはカイザリヤでも、ローマでも、静かな環境を備え、時間を与えて、彼の後期の書簡を通して、彼が主から受けた神の新約エコノミーの奥義の啓示を、各世代にわたって召会に、詳しく解き放つようにしました。

③召会が各世代にわたってこれらの書簡から受けてきた恩恵と益は、その価値を計るのに永遠を要します。

IV. 私たちはみな使徒パウロの模範に従って、唯一のからだのために、同じ一つの宇宙的な働きを行なうべきです:

A. 主の回復における働きは、諸地方召会を建造して、キリストの宇宙的なからだの建造へと至るためです。

B. 今日、四種類の働き人がいます:

①第一種類は、現在の時代における神の務めの必要に応じる同労者です。これは、主によって対処されてきて、一つ思いである少数の人です。

②第二種類は、若い同労者です。彼らは進んで導きを受け、年長の同労者の組み合わせの下に来て、進んで従い、へりくだって学ぼうとします。

③第三種類は、進んで前面の同労者に服従しようとせず、宗派に属しておらず、しかし喜んで私たちとの交わりの中にとどまる人です。

④第四種類は、宗派における説教者、自由な伝道者です。

C. 私たちが今日、必要とするのは、第一種類と第二種類の同労者です。第三種類と第四種類の働き人については、彼らに自分の道を選ばせることができるだけです。ある人々については、神は彼らに私たちと同じ道を取るよう、案配しませんでした。私たちはあえて彼らに何も言いません。

D. 状況がどうであっても、私たちはここにいて、神が私たちに託した働きを行ないます。私たちは他の人の働きに干渉することはできません。私たちはここで、他の人の働きを破壊しているではありません。 【金】【土】

Crucial Point①: 一つの神聖な水流は、

積極面では金、銀、宝石を生み出し、

消極面では人種的で閉鎖的な観念を粉碎する

OL1「積極面」: 私たちが主に私たちの全存在の中で首位となっていたとき、彼を私たちの初めの愛とすると、彼は私たちにとって神聖な水流となり、私たちの内側を流れ、また私たちから流れて、初めのわざとなります。初めのわざとは、私たちの初めの愛としての主によって動機づけられ、彼から流れ出て、彼を表現するわざです。初めの愛によって動機づけられるわざだけが、金、銀、宝石です。

ヨハネ 4:14 しかし、私が与える水を飲む者はだれでも、決して永遠に渇くことはない。私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである。

OL2「消極面」: 召会が拡大し始めるとき、誤った観念は粉碎されます。それが地域的、人種的、互いの差別の観念であっても、拡大することを通して、すべての閉鎖的な気質は取り除かれます。

コロサイ 3:11 その新しい人(召会)には、ギリシャ人とユダヤ人、割礼と無割礼、未開人、スクテヤ人、奴隷、自由人はあり得ません。キリストがすべてであり、すべての中におられるのです。

聖霊のこの水流の流れは、キリストのからだの交わりです。それは私たちの体の中の血液の循環に似ています。血液は常に、ある部分から別の部分へと流れ、それから再び戻ってきます。それとちょうど同じように、からだの交わりとしての聖霊の水流も、この地上で聖徒たちの間を流れているのです。

水流の流れから、金、真珠、宝石がやって来ます。創世記第2章の絵を見てください。これらの尊い物質は神の住まいの建造のためです。どこであれ流れのある所で、召会の建造のために材料が生み出されます。旧約の神の住まいである幕屋を見てください。大祭司の肩当てと胸当ての上には、金にはめ込まれた宝石がありました。使徒パウロは私たちに告げていますが、召会は金、銀、宝石をもって建造されます。これらは、聖霊の潮流の流れから出てくる材料です。啓示録では、新エルサレムの都全体が金、真珠、宝石で建造されていることが語られています。これらすべての材料はどのようにして存在するようになったのでしょうか？ それらはまさに神聖な命の潮流の流れからです。神聖な命の水流のある所に、召会の建造のための材料、尊い材料が存在するようになります。あなたと私は、召会の建造のための材料を決して生み出すことができません。神聖な命の流れ、聖霊の潮流だけが、この事を行なうことができます。それは各世代を通して流れてきて、今日も流れています。そしてそれが行く所はどこであれ、金、真珠、宝石が神の建造のために生み出されます。

召会の拡大は多くの障壁を打ち破り、多くの好ましくない実行を取り除くことができます。しかしながら、召会が起こされる多くの場所で、聖徒たちは心が狭いかもしれません。これがエルサレムの事例でした。彼らは多くの旧約の伝統や教えを持っており、それが彼ら自身を他の人たちから閉ざしました。彼らは自分自身を閉じ込め、他の人々を軽べつしました。さらに、彼らは他の人たちと交流していませんでした。

召会が拡大し始めるとき、誤った観念は、それが地域的、人種的、互いの差別の観念であっても、粉碎されます。拡大することを通して、私たちのすべての閉鎖的な気質は取り除かれます。新約は、エルサレムに在る召会が起こされてからしばらくして、神がその間に巨大な石を投じたかのようにであったことを見せています。それは大きな「爆弾」のようであり、その衝撃力によって聖徒たちを

散らし、彼らに強いてエルサレムから離れさせました。神が介入したのは、召会がユダヤ人のものでも、エルサレムのものでないからです。召会は宇宙的のです。

適用: 青年在職/大学院生編

あなたが渴きをいやす命の水を飲んだのは、命の水があなたの内側で源泉となり、湧き上がって流れ出るためです。六種類の新人(福音友人、救われたばかりの人、弱くなった人、キリスト教の追い求める信者、引越して来た人、家族)のために祈り、命の水を彼らに流すべきです。あなたはこの流れを止めてはいけません。あなたは福音を伝え続け、命の水を流れさせ続ける必要があります。

この流れの中で、積極面では建造のための金、銀、宝石を持ち、消極面では全ての閉鎖的な気質は取り除かれます。日本人には島国根性の気質があり、無意識のうちに排他的になる傾向が強いです。これは日本が島国である地理的な要因と、江戸時代に二百年以上も鎖国していた歴史と関係があるのでしょうか。日本人は自分の努力でこの排他的な気質を変えることはできません。しかし神聖な流れは排他的な気質と差別的な誤った観念を粉碎します。

ビジネスや研究において、地域的あるいは人種的な領域に留まっていると、あなたは必ず失敗します。グローバルなスタンダードに達しないものは評価されません。ビジネスの成功にも、研究の成功にも、あなたは地域的で閉鎖的な気質から出て来なければなりません。例えば、科学研究ではサイエンスやネイチャーという雑誌は、世界で最も優れた論文誌であり、それらに収載される論文は、世界中で高く評価されます。また、ビジネスではグローバルに展開しなければ、決して継続的に成長することはできません。

このように考察していくと、あなたが召会生活の中で流れの中に留まり、兄弟姉妹と共に福音を伝えて、他の人に命の水を流し出すことは、あなたが成就され、成功したビジネス・パーソン、成功した研究者になるために押さえないければならない戦略的な重点であると言えるでしょう。

兄弟の証し: 私は米系グローバル大手企業でバイス・プレジデント(VP)として働いていました。働いている時、アメリカのプレジデントやシニア VP などに、度々、次のような質問をされました、「日本支社(500名強)の中で、あなただけが日本人の閉鎖的な気質が無いのはどうしてですか?」。私はその時、次のように答えました、「私は若い時から教会の中で育てられており、教会には様々な人種の人がありますので、自然にダイバーシティ(多様性の許容力)を養うことができました」、或いは「私の妻は台湾人であり、私は毎日、中華料理を食べています」。主に感謝します。主は神聖な流れの中で、徐々に私の中の日本人の閉鎖的な気質を粉碎し、私を金、銀、宝石をもって造り変えつつあるのです。このゆえに、私は米国本社の役員たちとうまくコミュニケーションを取り、彼らから多大な投資を取り付けることに成功しました。

祈り: 「おお主イエスよ、私は毎日主をエンジョイし、毎週、福音や牧養のために出て行き、命を流し出します。私が命を流し出す召会生活を実行し続けることができますように! このような流れの中でのみ、私の閉鎖的な気質は粉碎され、私は成就されて神と人に役に立つ者になることができます。主に感謝賛美します。アーメン!」

詩歌 614 召会 — その建造 (英 846)

1. めぐみの主よ、霊の交流! せつにわれはもとめる!
てつのかべを 押したおして、主とまじわり、霊ながす!
3. めぐみの主よ、霊の交流! われはいのりもとめる!
もはやからに 閉じこもらず、ながれ止めず、霊ながす!
6. わが霊を主よ、ながせや! めぐみの主よ、われ、ねがう!
建ぞうされて、主とまじわり、ひとと調和し、霊ながす!

Crucial Point②: 結婚生活を建て上げ、 召会を建造するために、価値観が更新される必要がある

OL1: 私たちは主のあわれみを受けて、召会を拡大させ建造することを妨害するサタンの計略から救われなければなりません。また私たちは、自分自身を時代の流れの中に保ち、彼のからだを建造しなければなりません。

私たちは、外側の死んだ規定、人の意見、自己とその古い観念から救われなければなりません。主からあわれみを受ける者はだれでも、これらの事柄で救われます。私たちがどれほど救われているかは、召会がどれほど建造されることができるかです。

ガラテヤ 2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。そして私は今、肉体の中で生きているその命を、私を愛し、私のためにご自身を捨ててくださった神の御子の信仰の中で生きるのです。21 私は神の恵みを無にしません。

召会の拡大が遭遇する第一の問題は、ユダヤ教の制限と束縛です。ユダヤの信者たちは、ユダヤ教の伝統を依然として守っていたユダヤ人でした。彼らは召会をユダヤ教の観点から見ていました。…ユダヤ人は彼らの律法、規定、儀式が神からのものであり、敬虔なものであると信じていました。ですから、彼らは自分自身が最も神の言葉を守ることのできる者であると思っていました。サタンはこの考えを用いて召会を厳しく制限しました。

召会歴史を通して、召会が拡大した時はいつでも、神が力づける一群れの人々を通して、宗教的な儀式、規定、死んだ文字を打ち破りました。

一方で、私たちは聖書に従い、その光の中を歩き、真理の教えに従います。…しかしながら、他方で、私たちは自分の聖書の知識や真理の光が死んでいるか生きているかを自分自身に尋ねなければなりません。もし私たちが死んだ教理しか持っていないなら、このことは召会を制限し、妨げるでしょう。

適用: 結婚生活編

夫と妻はキリストと召会を予表しています。あなたは日本人の文化的観念で結婚生活を実行すると、神の祝福を失ってしまいます。

例えば、現代の日本人の観念によると、性格の不一致から来る不貞行為や離婚はある程度容認されます。しかし神聖な啓示によると、性格の不一致やその他どのような理由も、不貞行為を受け入れる理由にはなり得ません。この事については、どのような言い訳や理由も受け入れられません。夫と妻はキリストと召会を予表しているので、不貞行為は絶対的に容認できません。あなたはクリスチャンとして、神がどのような理由があっても不貞行為を受け入れないことを理解しなければなりません。このような理解の下で、結婚生活を建て上げる必要があります。

あなたはさらに進んで、あなたが持っている古い観念からも救われる必要があります。結婚生活を喜ばしいものに建て上げていくために、あなたは配偶者の長所を理解し、その点を高く評価すべきです。また配偶者の欠点については、自分にも欠点があることを理解して、配偶者の欠点を責め立ててはいけません。基本的に結婚生活の建造は、減点方式ではなく、加点方式で行われるべきです。夫であれ妻であれ、あなたには積極的に自分自身の結婚生活を建て上げる責任があります。

このような観点を持つときに、あなた(夫)は妻からどのような益や助けを受けているかと尋ねられたなら、あなたはすぐに答えることができるでしょうか？ もし即答できないとしたら、あなたは妻に対する自分の古い観念のゆ

えに神の祝福を十分に得ていないと言えるでしょう。結婚している夫は男尊女卑やその他の自分なりの結婚に関する規定から救われる必要があります。思いが更新されることで、古い価値観から解放され、キリストと召会の価値観に合致した結婚生活を持つ必要があります。

創世記 2:18 それから、エホバ・神は言われた、「その人が独りであるのは良くない。私は彼に、彼の配偶者としての助け手を造ろう」。

エペソ 5:28 そのように、また夫たちも、自分自身の妻を自分の体のように愛さなければなりません。自分の妻を愛する者は、自分自身を愛するのです。

またあなた(妻)は夫をどの面で助けているのかと尋ねられたなら、あなたはどのように答えることができるでしょうか？ 聖書によると妻は夫の助け手ですので、そのような観点を持って、結婚生活を建て上げてください。

箴言 12:4 価値のある女は夫の冠であり、恥をもたらず女は夫の骨の中の腐れのようなものである。

14:1 賢い女は自分の家を建てるが、愚かな者は自分の手でそれを壊す。

31:10 だれが、価値のある女を見つけることができるか？ 彼女の価値はサンゴにはるかにまさる。11 彼女の夫の心は彼女に信頼し、彼は収益に欠けることはない。12 彼女は生涯のすべての日々、夫に善を行ない、悪を行なわない。

31:26 彼女は知恵をもって口を開き、彼女の舌には慈しみの法則がある。27 彼女は家族の道をよく観察し、怠惰のパンを食べることをしない。28 彼女の子供たちは立ち上がり、彼女が幸いであると呼び、夫は彼女を称賛して言う、29 「多くの娘は立派に行なったが、あなたはすべてのものにまさっている」。

30 好意は偽りであり、美しさはむなし、しかし、エホバを畏れる女こそ、ほめたたえられる。

エペソ人への手紙 5章 22節から 6章 9節で、倫理的な関係の中で必要とされる生活について言及しています。その最初が夫と妻であり、その次に子供たちと両親、そして奴隷と主人について述べています。これは結婚生活を建て上げることが、あなたの子育てなどのファミリー・ライフとビジネス・ライフの基礎であるということです。結婚生活が祝福されることで、あなたのファミリー・ライフ、ビジネス・ライフ、研究生活などのすべての生活が祝福されます。それは究極的にあなたがエペソ書全体の主題である召会を建造する人になるためです。

あなたは上に記載した結婚生活に関する御言葉を祈り読みし、そのことを思い巡らし、祈って下さい。また自分の古い観念から来る価値観を主に告白して、対処してください。そうすればあなたの思いの中の結婚に関する価値観が更新されるでしょう。

詩歌 539 内側の命の各面 — 新しい心と新しい霊 (英 743)

1. あいするところと受け入れる霊を持つ
かみのうつわとしひとはつられた。
2. ころで主あいし、霊で主を受け入れる、
いのちにあずかる みちはほかになし。
3. サタンはころをけがし、れいを死なせ、
主に触れさせずに、自己に生きさせる。
4. 主はすくいあり、ころと霊を更新し、
受け入れ、あいする機能かいいふくした。
5. あらたなころで、かみをあいし、もどめ、
あらたなれいもて、礼拝し、受け入れる。
6. かみに対しころ、単いつで純粹であり、
霊のなかまらず、つきゆうし、ふくす。
7. ころは主あいし、新せんでふるさなく、
霊まつねにつよく、活ぱつであるように。

第一系列 高い福音(新人/中高生編)

第一題目 人生の奥義

ローマ 9:23 しかも、栄光へとあらかじめ用意しておられたあわれみの器に、彼の栄光の豊富を知らせようとされたとすれば、どうなのですか？

ローマ 10:9 すなわち、あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます。

神の計画

神には一つの計画があります。この計画は人ととても大きな関係があります。この計画は、聖書の中で神のエコノミーと呼ばれています。

神のエコノミーとは人に対する神の計画全体のことです。それは人はどこから来て、どこへ行くのか、人生の意義は何であるのかを解き明かします。

人は神を入れるために造られた

あなたが造られたのは、ただ単に食物を胃の中に入れるためではありません。また知識を頭の中に入れるためでもありません。それは神をあなたの霊の中に入れるためです。

罪は人の内に入ってきて、人を墮落させた

罪は人の霊を死なせ、人の思いを背かせ、人の体に罪を犯せました。人は昔から、あらゆる方法を尽くし、罪を犯すことから逃れようとしてきましたが、人は自分を救うことはできません。

キリストは十字架上に釘づけられ、贖いのわざを完成された

神の小羊として、彼の死は人の罪を取り除きました；上げられた青銅の蛇として、彼の死は古い蛇（サタン）を滅ぼしました。一粒の麦として、彼の死は神聖な命を解き放ちました。

神の分与は人を再生させる

神は肉体となり、人として生まれ、イエスと呼ばれました。「言は肉体と成って、私たちの間に幕屋を張られた」。主はその霊と「成りました。それは死から復活によってであり、命を与える霊と呼ばれます。「最後のアダムは、命を与える霊と成ったのです」。この霊は「命を与える霊」ですから、命をもたらし、神を信じる人の中へと神を分与します。

今あなたはどうすべきでしょうか？

一 神に心の向きを変える—悔い改め

悔い改めは「思いを向け変える」ことです。「悔い改めよ、天の王国は近づいた」(マタイ 4:17)。

二 信じる—受け入れる

信じるとは受け入れることです。「すべて彼を受け入れた者、すなわち、御名の中へと信じる者に、彼は神の子供たちとなる権威を与えられた」(ヨハネ 1:12)。

三 告白—呼び求める

「あなたが自分の口で、イエスは主であると告白し、自分の心で、神は彼を死人の中から復活させたと信じるなら、あなたは救われます」(ローマ 10:9)。

四 バプテスマされる—証しする

バプテスマされることは、人の面前で証しすることです。信じた人はだれでもバプテスマされるべきです。そうすれば、彼らは神の面前で救われるだけでなく、また人の面前でも救われるのです。バプテスマによって、神は私たちをサタンの国から、神の王国の中に移されます。主イエスは言われました、「まことに、まことに、私はあなたに言う。人は水と霊から生まれなければ、神の王国に入ることはできない」(ヨハネ 3:5)。

今どうか祈ってください

「主イエスよ！私は一人の罪人です。私はあなたが必要です。私の霊の中に入ってきて、私の罪を取り除いてください。私を満たしてください。私に神の命を持たせてください。私は今あなたを私の救い主とし、命として受け入れます。私は自分をあなたにささげます。主の御名によって求めます。アーメン！」

詩歌附 4 福音—人生の奥義

1. 三部分から成る かみのうつつわは、かみを内容とし、かみを表現する。
2. かみにつくられ、たかい地位持つ、かみのいのちと せいしつひつ要。
3. かみのキリスト、あがないを成し、ひとの霊に入り、いのちあたえる。
4. キリストなくば、すべてはむなししい；人せいの意義も もくてきもなし。
5. キリスト得れば、れいは生かされ、むなししい人せいも さん美に満ちる。

